



海老原誠治 (えびはら せいじ)

いただきます.info事務局、三信化工株式会社、資源と環境と教育を考える会「エコが見える学校」、女子栄養大学短期大学部非常勤講師、元関東学院大学非常勤講師。和食器を用いた出前授業や、テレビ局の撮影クルーの経験を生かして動画作成の研修会の講師も務める。

フィールド・スマホ・GPS

▶ 「いただきます」のルーツ? ||

国立民族学博物館の共同研究では、食事の際に言う「いただきます」の習慣は比較的最近で、明治・大正での定着は確認されていません〔食卓生活史の調査と分析：食卓生活史の質的分析（その2）熊倉功夫,1991〕。

ですが、「いただきます」に通じる感謝や命への敬いは、古くからあります。例えば道元（1200-1253）の赴粥飯法^{ふしゅうはんぽう}には、食事では感謝して合掌することが記されます。

また主には江戸時代以降ですが、人間の食のために殺生された魚・鯨・熊・虫（現在の害虫）・鹿・鳥、そして猪などに向けた供養塔が全国に建立され鳥獣供養塔や禽獣供養塔などと呼ばれます。これも「いただきます」に通じる命への敬いです。

こうした供養塔の一つが、佐賀県小城市の平原地区にあることが、古い市史などの記録で確認できます。しかし詳細については市文化財担当や歴史資料館に問い合わせても不明です。とりあえず直接確認するため、現地に向かい探検です。

まずは神社から始めて見つからないと、地元の方に聞き取りです。「いや私はそういうのわからんから、あそこの〇〇さんに聞いてみて」「確か△△の旦那さんが、そういうの詳しかった」。不審に思われなが

らも芋づる式に聞いてゆくと、もう亡くなられた方が40年ほど前に確認したことを、ご家族から伺います。当時の写真も見せていただくと白黒で、少しカルチャーショック。「正確な場所はわからないけど、あそこん山んあたりって聞いちょる」との情報でしたが、土砂崩れ等で山道も荒れて…。迂回しながらも藪を分け山中をさまよいます。おおよそ直径1kmの範囲ですが、生い茂った植物と高低差で迷い、半日かけても見つかりませんでした。

▶ スマホの位置情報を活用 ||

供養塔探し、一度は断念しましたが、詳細な地形図で候補地とそのルートを絞り込みます。半年以上検討し、この正月にやっと発見できました。まずはお酒を供え、ビデオ・写真・VR・3Dスキャンと一通りの記録。ここで重要なのがスマホの記録です。

皆さんも経験があると思いますが、スマホで撮った写真には位置情報が記録され、これがとても便利に活用できます。古い文化や山村・狩猟の調査などでは、住所が存在しないこともあり、写真に記録されるGPSによる位置情報が役に立つのです。

国土地理院（国土交通省）によると、スマホのGPS精度は3mほどです。iPhoneならタッチパネルで選択した写真を下から上に

表 緯度・経度（GPSによる位置情報）の書式例

	表示形式	緯度・経度（GPSによる位置情報）の書式例
Apple	度分秒（DMS）	33° 18'5.448" N 130° 11'25.758" E
Google	度（DD） 度分秒（DMS）	33.301528, 130.190500 33° 18'5.448" N 130° 11'25.758" E
国土地理院	度（DD）・カンマ区切り 度分秒（DMS） 度分秒（DMS）・漢字	33.301528, 130.190500 33° 18'5.448" 130° 11' 25.758" 33度 18分 05.448秒 130度 11分 25.758秒



▲「写真のGPS情報の活用」_Google Mapや国土地理院Mapとの連動」の解説動画。
<https://youtu.be/CQTLQt9V3bk>



▲佐賀県小城市にある猪鹿の供養塔。

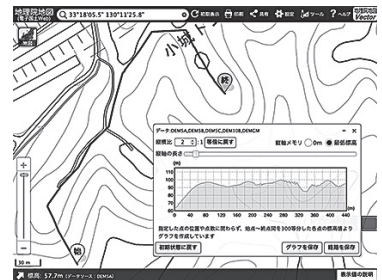


◀供養塔の3D撮影。
<https://lumalabs.ai/capture/D2785088-0C68-4BB3-906C-9DF4FD169447>

図1 写真の位置情報を表示する流れ（Mac）



図2 経路に対応した距離と標高の表示



出典：国土地理院Webサイト
[\[https://maps.gsi.go.jp/\]](https://maps.gsi.go.jp/)

なぞる（スワイプ）と詳細情報が表示され、Androidでは写真をタップし表示される「…」のメニューから「詳細」を選ぶと確認できます〔出典：Google Help〕。

この情報は「Exif」といい、撮影機器・撮影条件・時間などが記録され、PCなどに写真をコピーしても受け継がれます。Windowsでは画像を選択し【プロパティ】から、Macなら【ツール】→【位置情報を表示】→【①】→【GPS】から確認（図1）でき、この情報を入力すれば各種MAPアプリやWebサービスでも使えます。

GPSの位置情報は、緯度（南北）と経度（東西）で示されるので数値は角度を示す「〇度 = 〇°」になります（360°で一周）。詳細な位置情報を示す小数点以下の表記は不思議なことに、時計と同じ60進法（1～60で一周）と、0～9で繰り返される10進法の2種類の表記があります。確認したところ、どちらの表記でも、Google Mapや国土地

理院地図などのWebサービスは対応しています。ただし、位置情報をそのまま入力しても認識しない場合があり、スペースの入れ方、カンマ区切り、【N（北緯）、E（東経）】の併記の有無などの書式を合わせる必要があります（表）。

位置情報がわかると、応用もできます。Windows・Macいずれでも国土地理院地図に入力すれば、詳細な地形を確認することができます。この時、【ツール】→【断面図】の機能を使うと、行程の道のりとその高低差が表示されます（図2）（上記解説動画参照）。

5年生社会科の学習指導要領解説には、「地図帳や地球儀を用いて、方位、緯度や経度などによる位置の表し方」「地球儀を用いて2点間の方位や距離を確かめたり、緯度や経度等を使って位置を説明」と記載されています。写真の位置情報を利用した活動も広がりそうです。